

機能要件確認表（病後児保育）

【対応可否欄入力区分】
 A：標準仕様にて対応
 B：カスタマイズにて対応
 C：代替案にて可能
 D：対応不可

No	機能要件	必須項目	対応可否	カスタマイズ費用	備考（代替案等）
システム基本機能					
1	提案システムが、他の自治体への導入実績がある安定性、信頼性に優れたパッケージシステムであること。				
2	職員が実施する操作等において、特別な知識を持たない職員にとっても使いやすいように、画面構成や入力操作の共通性及び検索機能の充実した、操作性に優れたシステムであること。	●			
3	制度改正等に対応するため、拡張性が考慮されていてカスタマイズが可能であること。	●			
4	検証環境（テスト環境）を備えたシステムであること。	●			
5	クライアント端末を追加する場合に、ミドルウェアを含めライセンス料等の追加費用が発生しないこと。				
6	仮想デスクトップで動作することが確認されたシステムであること。				
7	クライアント端末に特別なソフトウェアをインストールすることなく利用可能な（汎用的なソフトウェアのみで稼働する）Webシステムで構築されていること。				
8	システム利用者のID管理ができること。 ログインにはIDとパスワードが必要であること。 IDは、管理者、バッチ処理権限ユーザ、一般ユーザ等の区別ができること。	●			
9	仕様書の内容（文字やデータ連携、形式はCSV形式、可変長、カンマ区切りを想定）を踏まえ、本市住民記録システムとの連携が可能であること。	●			
10	仕様書の内容（文字やデータ連携、形式はCSV形式、可変長、カンマ区切りを想定）を踏まえ、本市住民税システムとの連携が可能であること。 ※現時点では使用していないが、将来的に使用が可能であること。				
11	社会保障・税番号制度に対応が可能であること。 ※将来的に独自利用事務となった場合に対応が可能であること。				
12	社会保障・税番号制度により求められる安全管理措置を踏まえていること。				
13	仕様書の内容を踏まえ、次期システムへのデータ移行が可能であること。	●			
14	システムから出力される帳票等について、本市の仕様に合わせてレイアウトの変更等が可能であること。	●			
15	幼児教育無償化に対応していること。	●			
16	将来的に病児保育への対応が必要となった場合、システムでの病児保育対応が可能であること。				
システム基本操作					
17	児童と保護者別に宛名番号、世帯番号、カナ氏名、漢字氏名、生年月日で検索を行い、該当者の一覧表示が可能であること。	●			
18	検索結果で候補者が複数存在する場合には、候補者の一覧に漢字氏名、住所、生年月日等が表示されること。	●			
19	カナ氏名検索の場合は、前方一致等の検索が可能であること。	●			
20	各業務画面には、入所児童の基本情報（氏名・住所・生年月日・年齢・性別・宛名番号・世帯番号・保護者に関する情報）の全部又は一部が表示されること。 一部の場合は、表示されない項目を本表の備考欄に記載すること。	●			
21	入力ミスを防止する機能（画面入力時のエラーメッセージのポップアップ等）が備わっていること。	●			
22	更新誤り等を防ぐため、更新処理を実施する場合は、ポップアップによるメッセージ画面が表示されること。				
23	日付入力時は、西暦又は和暦の何れかで入力できること。 和暦を使用する場合は、元号を数値（4＝平成、5＝令和 等）で入力できること。また、元号が改正された場合でも対応可能であること。				
異動管理					
24	検索結果一覧表示から該当者を選択し、登録・削除・保護者変更・料金変更処理が行えること。	●			
25	同一世帯で対象児が複数いる場合は、個別に児童の登録や管理ができること。	●			
26	同一世帯で対象児が複数登録されている場合、料金変更を一度の処理で変更できること。				

機能要件確認表（病後児保育）

【対応可否欄入力区分】
 A：標準仕様にて対応
 B：カスタマイズにて対応
 C：代替案にて可能
 D：対応不可

No	機能要件	必須項目	対応可否	カスタマイズ費用	備考（代替案等）
27	登録された対象児の訂正・取消が容易に行えること。	●			
住民記録システムとの連携					
28	住民記録システムからの異動情報を取り込み、データベースに反映できること。取込エラーとなった場合は、エラーが明示され、エラーリストが出力できること。	●			
29	住民記録とは別に、住登外の登録ができること。住登外の児童及び保護者も住民記録を基にした対象者と同じ扱いができること。	●			
税情報システムとの連携					
30	税情報システムからの異動情報を取り込み、データベースに反映できること。取込エラーとなった場合は、エラーが明示され、エラーリストが出力できること。				
31	税情報システムとのデータ連携ができない対象者がいる場合は、オンライン画面から登録が可能であること。また、データ修正の必要がある場合にも、オンライン画面からの修正が可能であること。				
帳票の作成・出力					
32	病後児保育登録者一覧表が出力できること。	●			
33	病後児保育利用登録証（資格証等）が出力できること。	●			
34	前述No16に関連する対応として、上記No32及びNo33の帳票について、帳票名の変更が可能であること。	●			
年次繰越処理					
35	年度切替の際に、登録されている対象児のうち、有効期間が翌年度に掛かる対象児がいる場合は、該当する対象児の登録情報等を一括で繰越できること。	●			
操作者権限管理					
36	システム利用者本人でパスワードの設定・変更ができること。	●			
37	パスワードの有効期限が設定でき、パスワードの有効期限に到達する前にワーニングメッセージを表示できること。				
アクセスログ管理					
38	ログイン情報や参照・更新した情報等のアクセスログを管理し、いつ、誰が、誰の、何の情報を、どうしたのか等のオンライン使用状況であるアクセスログについて記録できること。	●			
39	システム管理者が必要に応じてアクセスログを検索し、参照できること。また、CSVファイルにデータを抽出できること。	●			
40	個人番号を照会したアクセスログを取得できること。 ※ No11の対応可否の欄がA、B、Cの場合は必須とする。				
41	個人番号へのアクセスログを画面上で確認できる機能があること。				

カスタマイズ費用 計